

みつくら

令和 2年 4月15日 第312号
 発行 大瀬川活性化会議
 編集 「みつくら」編集委員会
 花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2
 大瀬川振興センター 電話45-6472

“お～い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

新型コロナウイルス感染症対策で各行事を中止

昨年11月に中国武漢市で発生した新型コロナウイルス感染症は、瞬間に全世界に広がり、花巻市からの集会自粛要請に基づいて大瀬川でも多くの行事が中止された。

3月から4月にかけての行事の内、大瀬川地区子供育成会主催の入学卒業おめでとう大会と春の自転車教室、くずまの花主催の元気でまっせ体操、あじさいの会主催の元気でまっせ体操、たんぼぼの会主催の元気でまっせ体操（4月末までいずれも6～8回）、大瀬川歴史探訪講座（4月分）、8区各班の観桜会、大瀬川中央長寿会観桜会、薬師堂川観桜会などが中止となった。

また、大瀬川戦没者慰霊祭は、直会（なおりい）を取りやめるなど規模を縮小して行った（関連記事は別途掲載）。この慰霊祭については当初、中止の案も検討されたが、明治30年以来多くの疫病が流行った時も、戦時中でも毎年神武天皇祭の4月3日に一回も休まず続けていることなどを考慮し実施したものの。

新型コロナ感染症対策で殆どの総会が書面議決

市が管理している公共施設が、新型コロナウイルス感染症対策で会場の貸し出し禁止と、集会の自粛要請が発令され、当地区でも活動している殆どの団体は3月～4月に総会を開いており、何れの団体も役員会や総会を開けず書面議決による方式が多くなっているため以下に各団体の様子をお知らせしたい。（4月3日現在で議決日不順）

○7区自主防災会

7区自主防災会総会は書面議決となり、3月に議決のとりまとめを行った。令和元年度の主な事業は、8月に応急手当訓練と初期消火訓練を、2月には土砂災害危険箇所の説明会と避難経路とハザードマップの講習会を行っている。大瀬川で唯一指定されている山崩れなどの危険区域は7区自主防災会のみなので、その活動が期待されている。

また、令和元年度交付金で購入した安否確認カードの各戸配布は4月以降となった。

○7区自治公民館

書面議決書添付の資料によると、令和元年度の主な事業は資源回収を毎月行っていて、その奨励金が約3万9千円になっている。他には公民館前の花壇植栽や8月の区民交流事業の「ふれあい広場」には実に48名も参加している。1月の三世代交流事業の「みずき団子づくり」には23名、新年交賀会には25名の参加が載っていた。

○8区自主防災会

書面議決書に添付された資料によると、令和元年度の主な事業は、25名が参加して応急手当講習が8月に、2回目の応急手当講習を2月に24名が参加して行っている。他には7月に農家組合と自治公民館共催の研修旅行も実施した。

○8区自治会

大瀬川公葬地の駐車場を取得したのを機会に設立した登記管理団体で平成22年に設立している。実質的な管理は、大瀬川公葬地管理運営委員会が行っているため、令和元年度の会計収支は0円。書面で総会議決。

○8区自治公民館

8区自治公民館総会も書面議決とした。主な事業としてはプール南花壇の植栽、年5回の資源回収、夏、冬2回の軽スポーツ大会、ミズキ団子作りなどが報告されていた。

他の自治公民館資料と比較して、独自の掃除当番が無い事や、公民館維持費が無い事、従って備品費も少ない（大瀬川振興センターに寄贈もあるが）のには、改めて有り難い事だと思った。

○9区自治会

9区自治公民館の登記団体で毎年9区自治公民館総会と合併して総会をしている。9区自治公民館と共に書面議決となった。

○9区自治公民館

書面議決書添付の総会資料で感じたのは、予算額が他の自治公民館よりも格段に多い事であった。7区の予算は約40万円、8区は約37万円に対して9区は約90万円と突出している。これは各戸の負担金のほか河川敷の草刈りに伴う収入や、年4回の交流会費、お土産など特別会計枠も含まれている。さなぶり会（44名）や葛丸川河川敷地の草刈り（39名）、花壇の植栽や収穫感謝祭（43名）など独自の事業を行っているのが目についた。公民館施設利用も記載されていて、実に162回も使われ、2日に1回利用されていることになる。

○大瀬川地区子供育成会

4月5日に予定していた総会が、3月27日に市から施設利用禁止が4月末まで延期されたのに伴い、急遽書面議決によって対応した。主な事業報告として、子供会花壇の花植えやサツマイモ植え、プール掃除、親子環境学習会、ふるさとクリーン作戦（ゴミ拾い）、ラジオ体操会、親子卓球大会、救急・防災ヘリの見学、消防自動車での巡回広報などが掲載されている。

児童が少ないのに、どこからも引っ張りだこで、忙しかった一年間であった事が分かる。

4月からの新年度については、石鳥谷小学校から連絡があり、新学期には4年生以上は始業式の日から自転車通学は良いが、3年生は4月14日の交通安全教室が終わってからの自転車通学となるとあった。

○JA花巻女性部石鳥谷支部

3月8日付の書面議決となった。会員は農協組合員（準含む）の女性全員であるが、総会はその内代議員25名で実施。総会資料によると現在の支部長は板垣江利子さんと、主な事業は岩手中部グリーンセンター研修や、石鳥谷まつりの手踊り、ふれあいプラン収穫感謝祭、手まり寿司講習会などが報告されていた。

○大瀬川婦人会

3月8日に大瀬川振興センターで総会を予定していたが、直前の3月2日に自粛要請があったため、急遽書面議決に変更した。会員には突然集会が中止になったので、菅原房子会長から「花巻市から、新型コロナウイルス感染症対策で会場での集会が出来なくなり、書面を以て挨拶とさせていただきます」と年間の事業に対する協力への感謝が添えられた。

主な事業報告は、大瀬川地区民運動会への協力や、八幡平での研修旅行、映画「万引き家族」上映の券売、市婦協石鳥谷支部の軽スポーツ大会への参加、七宝焼き教室と料理教室の開催、千鳥苑夏祭りへの協力などが報告されていた。

○あじさいの会

8区のボランティア団体である「あじさいの会」（会員28名）では、新型コロナウイルス対策のため、規模を縮小して役員範囲で小屋場の消防会館で総会を行った。会員には後日総会資料を届ける予定。令和元年度の主な事業は、「グリーンホーム落合」での触れ合いサロン、体力測定会を2回、元気でまっせ体操42回、いきいき講座「認知症・安心して過ごすために」、介護予防講座「実践・口腔ケア」などが報告された。

○大瀬川中央長寿会

4月5日に予定していた総会も、新型コロナウイルス感染症対策で書面議決による事となった。会員は50名であるが、令和元年度の事業報告では花見会に30名、鶴住居への研修旅行に22名、運動公園奉仕（剪定）に18名、金矢温泉での芋の子会に23名、ラ・フランスでの新年交賀会に26名が参加している内容であった。

例年賑やかに行っている4月の花見会は、新型コロナウイルス感染症対策で中止となった。

○下大瀬川美土里の会

下大瀬川美土里の会総会も、新型コロナウイルス感染症対策で書面議決となった。令和元年度の事業報告では、水路など施設修理は4ヶ所、長寿命化でのU字溝布設工事は3ヶ所で延べ114m、他にも堰の泥上げや不法投棄のゴミ収集（3回）基礎的保全の畦や道路や水路の草刈り（4回）、花壇の植栽、子供会との環境学習会（生物調査）などであった。
裏面につづく→

みつくら

令和 2年 4月15日 第312号
 発行 大瀬川活性化会議
 編集 「みつくら」編集委員会
 花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2
 大瀬川振興センター 電話45-6472

“お〜い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

○第7区農家組合

書面議決書添付の総会資料によると、令和元年度の主な事業は山王海ダムでの研修会（30名）、転作確認、収穫感謝祭（28名）、山の幸染め教室（15名）等が報告された。今度の総会で規約改正も行われ、役員に農協総代も追加した。

○第8区農家組合

第8区農家組合の総会も令和2年3月に書面による決議となった。事業報告では「スーパー台風19号によって、屋根やいぐねの倒木、さらにはビニールハウスなどに大きな被害をもたらした年度であった。元年度の主な事業は、ベアレン醸造所零石工場見学や農福連携の福祉作業所「かしわの郷」の視察をした研修旅行（40名）や転作確認、他に農協まつりでの「三世代ふれあい餅つき大会」などが報告されていた。

また、「令和2年度は農協からの助成金も組合員当たり1千円の減額となり当組合でも5万6千円の減収見込み」とあった。新年度事業への影響が懸念される。

○第9区農家組合

書面議決による総会資料に「4～5月には温暖な日が多かったが、6～7月は曇天で日照時間も少なく、冷害が心配されました。お盆頃から晴天と高温の日が続き、「103」の作況指数でやや良の作柄となりました」と一年を振り返っている。

主な事業として研修旅行では、山王海土地改良区の鷹觜管理課長からDVDを交えて山王海ダムの説明を受けた後、一連の設備機器を見学したことが書かれていた。

農協まつりは生憎の大雨で10月19日の『釜吹き名人』は9区公民館でご飯を炊いて持ち込み、「振舞ったテントには多くの人が並び、舌鼓を打っていた」とあった。

この新型コロナウイルス感染症は、今も患者数が増加しており、先行き不透明となっている。まだまだ集会の自粛が叫ばれ書面議決での総会が出るものと思われる。

- 人 事**（敬称略）
- 第7区行政區長 畠山智明
 第8区行政區長 板垣幸夫
 第9区行政區長 高橋仁吉
 あじさいの会 会長 板垣福子（新）
 副会長 畠山喜代子（再） 板垣幸子（新）
 大瀬川婦人会 会長 菅原秀子（新）
 副会長 熊谷敏江（新）
 J A花巻女性部石鳥谷支部
 支部長 板垣江利子（平成31年から）
 J A花巻女性部花巻地域支部
 副支部長 板垣江利子（平成31年から）
 J A花巻女性部花巻地域支部代議員
 菅原茂子、熊谷叔加
 大瀬川地区子供育成会 会長 菅原一禎
 副会長 菅原佳奈子
 7区自主防災会 会長 菅原正義
 副会長 畠山勝則 菅原光雄
 8区自主防災会 会長 板垣勇悦
 副会長 板垣幸夫 畠山信幸
 8区自治会 会長 板垣勇悦 副会長 菅原洋二
 7区自治公民館 館長 畠山勝則（再）
 副館長 畠山智明（新） 菅原光雄（新）
 8区自治公民館 館長 板垣勇悦（新）
 副館長 菅原洋二（新）
 7区農家組合 組合長 菅原光雄 副組合長 菅原孝三
 8区農家組合 組合長 畠山信幸 副組合長 板垣 公
 9区農家組合 組合長 高橋昭一 副組合長 藤原芳男
 下大瀬川美土里の会 代表 高橋義晃
 副代表 藤原芳男 熊谷武忠
 石鳥谷中学校大瀬川地区委員 菅原康文（再）
 石鳥谷小学校大瀬川地区委員 菅原善孝

県道13号線の歩道は東側に

県道盛岡和賀線の歩道取り付けの現地説明会は3月19日に行われ、併せて御所森までの測量が実施された。現在、大瀬川地内分の歩道未設置部分は、大瀬川公葬地入り口から郡境（片寄野添）までの450m。説明によると、大瀬川橋から御所森までは県道の東側に歩道があるが、それ以北もそのまま佐藤忠治さん宅付近のT字路まで東側に設置する。また、そのT字路から以北は、県道の西側に設置となり、概存の郡境までの歩道と接続となる。

大瀬川活性化会議が県に要望してから11年を経て、ようやく実現の見通しが立った。令和2年度は土地買収、令和3年度に着工し、令和4年度に完工の見込みである。

舗装修繕工事了る

「市道大瀬川線舗装修繕工事」と看板設置し、7区自治公民

館より西側に180m（舗装幅員7m）分の痛んだ舗装修繕工事がこのほど完了した。発注者は花巻市建設部道路課で、施工業者（受注者）は高田工業（株）が行い、工期は3月23日までだったが、8日には区画線（センター・両サイド）が引かれ早期完成して、走りやすくなった。

今後の計画では、東側は菅原幸福さん前の交差点まで、西側は菅原 茂さん前の交差点までの舗装修繕工事が予定されている。

大瀬川から新一年生は3名

今年度の石鳥谷小学校入学生は大瀬川から3人で、菅原大雅（たいが・西栄ノ上家）さん、板垣陽翔（はると・高田竈家）さん、板垣美月（みつき・たばこ屋）さんでした。おめでとうございます。

かつて、大瀬川小学校に入学した最も多かった人数は、昭和23年度（熊谷善志さん達）の44名で、今年はその7%にしか過ぎない。

表彰

第40回花巻市スポーツ少年団スポーツ大会卓球競技
 男子シングルス3位 辻村大雅さん
 叙勲 旭日単光章 板垣 寛さん（自治功労）

訃報

栗ノ木竈家の熊谷裕子さんは、3月4日に86歳で亡くなりました。熊谷さんで思い出すのは、働きずくめの一生ではなかったでしょうか。熊谷さん宅では、お父さんの熊谷薫さんが昭和17年から葉煙草栽培（熊谷儀男談広報いしどりや）をしていて、ご主人の熊谷年男（上野々竈家生まれ）さんとご一緒になられてからでも実に40年間、尾平で葉煙草栽培をされていました。近所の方は「葉煙草は手間暇がかかったものでしたが、熊谷さんは、朝早くから夜遅くまで働いた方でしたよ」と話していました。

熊谷さん宅は、昭和50年代に現在地（小屋敷家跡）に移転しましたが、それ以前は藤原利博さん宅の東側に住んでいました。それもあって、終生のお友達は藤原キミ子さんや熊谷ウメ子さん、畠山カツエさん、藤原玉子さん達でした。葉煙草仲間の方からは「農作業が忙しく、あまり出歩かない方でしたが、温泉に行くのが唯一の趣味のようでしたよ」と話していました。

大瀬川婦人学級運営委員や大瀬川交通安全母の会会長など地区にも貢献されました熊谷さんに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

訂正

3月15日号の7区ふれあい昼食会の記事で「菅原照子さんが作ったりんごのブルーベリー和えは・・・」は、菅原みさ子さんの誤りでした。